

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第1回)

熊本地震 ネット募金システムでの人助け

2016.05.30

2016年4月に起きた熊本地震をはじめ、国内外もしくは世界中で起きている災害や事故、事件などで、困っている人はたくさんいる。平和に暮らしている自分らも、明日は我が身だ。何らかの形で、困った人を手助けしたいという気持ちは誰もあろう。

こうした気持ちを現実化できる1つが募金だ。とはいえ自分の回りのことで手いっぱい、簡単にできなければ実行に移しにくい。筆者もたまにコンビニで買い物したお釣りを、レジ脇の募金箱に入れる程度が関の山だったりもした。

そんなこんなで思い

あぐねていたら、コストを掛けずに募金を

行える手段を思い出した。紹介するのは「[sumabo](#)(スマボ)」というサービスだ。無料で募金ができる。



The screenshot shows the sumabo website interface. At the top, it displays the sumabo logo and navigation links. Below that, a progress bar shows the total amount raised (4億56,098,746円) and the current goal (43,901,254円). A central yellow box contains a 'welcome to sumabo' message, explaining that users can earn money by clicking on various partner sites. The page also features a 'csr engage' logo and a 'sumaboのトップページ' link at the bottom.

sumaboのトップページ

この名前でピンとこなくても、「クリックで救える命がある。」という旧名なら覚えている人もいるかもしれない。2000年に発足したけっこう歴史の長いサービスだ。今まで約800万人以上のユーザー(2014年1月現在)により、総額で4億円以上の募金を行ってきた実績がある。

このサイトは、ボタンをクリックすると、無料で募金ができる、いわゆる「クリック募金」と呼ばれるシステム。クリック数に応じ、スポンサー企業が代わって寄付を行うので、ユーザーには一切お金が掛からない仕組みだ。

募金先(スポンサー)はその都度変わる。現在、行われているのは、「熊本地震緊急支援クリック募金」(ピーエスシー)、「生物多様性支援クリック募金」(JXエネルギー/キヤノン)の3種類。バナー右下の金額は、1回で募金できる金額だ。

実際に「クリック募金」を行ってみる… 続きを読む